

2014年3月期第2四半期決算説明会 フジテック株式会社(6406)



2013年11月26日(火)

1 2014年3月期 第2四半期業績

2 2014年3月期 業績見通し

3 中期経営計画とアジア事業戦略

1

2014年3月期 第2四半期業績

1-1. 連結決算の概要

増収増益で利益率も改善。過去最高を更新

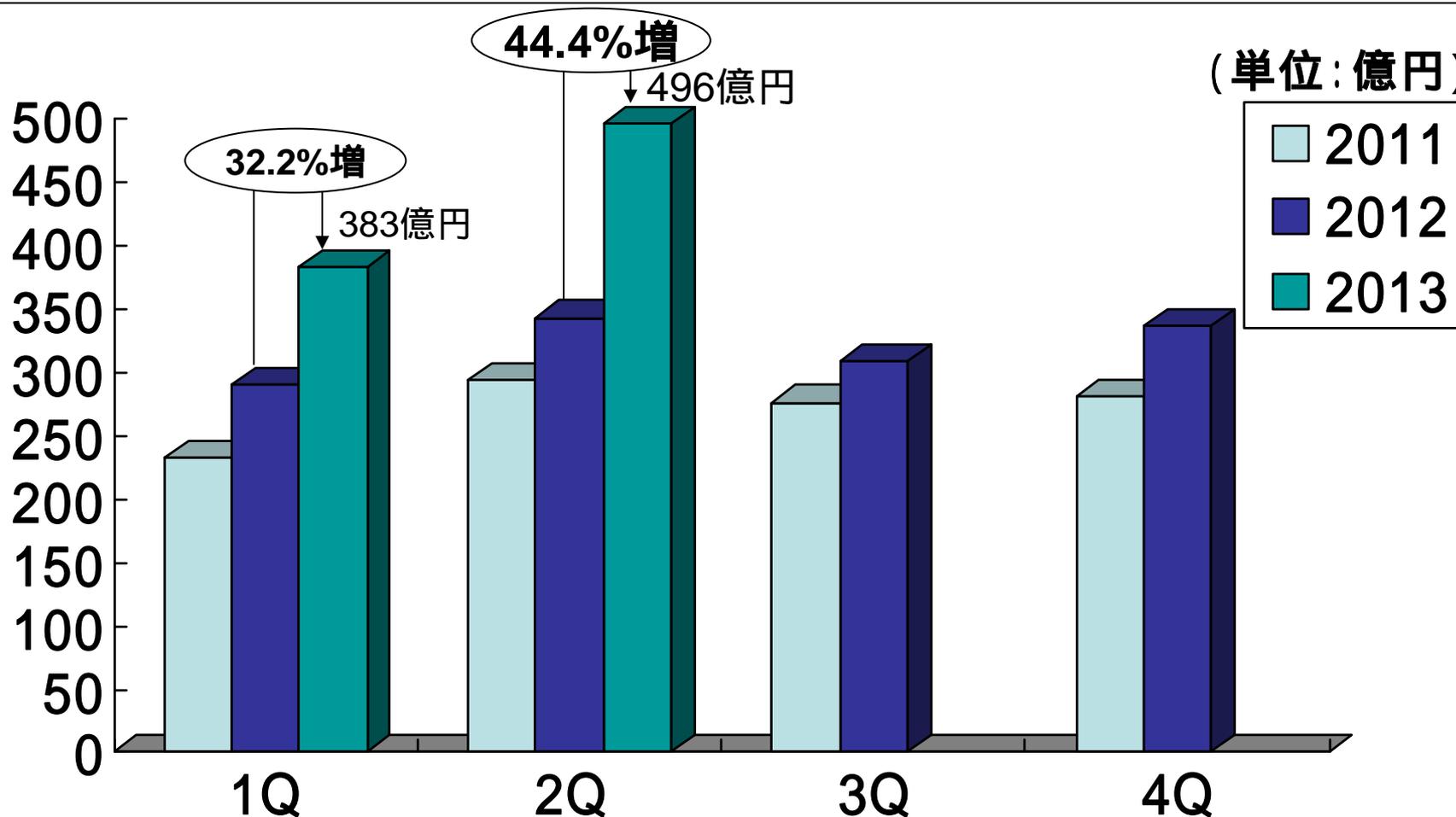
(単位:百万円)

	2014/3 2Q (累計)	構成比 (利益率)	2013/3 2Q (累計)	構成比 (利益率)	増減%	修正予想
受注高	87,920	100.0%	63,349	100.0%	+ 38.8%	-
国内	34,461	39.2%	27,008	42.6%	+ 27.6%	-
海外	53,458	60.8%	36,341	57.4%	+ 47.1%	-
売上高	65,622	100.0%	53,715	100.0%	+ 22.2%	66,000
国内	25,716	39.2%	22,472	41.8%	+ 14.4%	
海外	39,906	60.8%	31,242	58.2%	+ 27.7%	
営業利益	5,053	7.7%	3,628	6.8%	+ 39.3%	4,800
経常利益	5,618	8.6%	3,743	7.0%	+ 50.1%	5,200
四半期純利益	2,992	4.6%	1,977	3.7%	+ 51.3%	2,800
E P S	31.99円	-	21.14円	-	+ 10.85円	29.93円

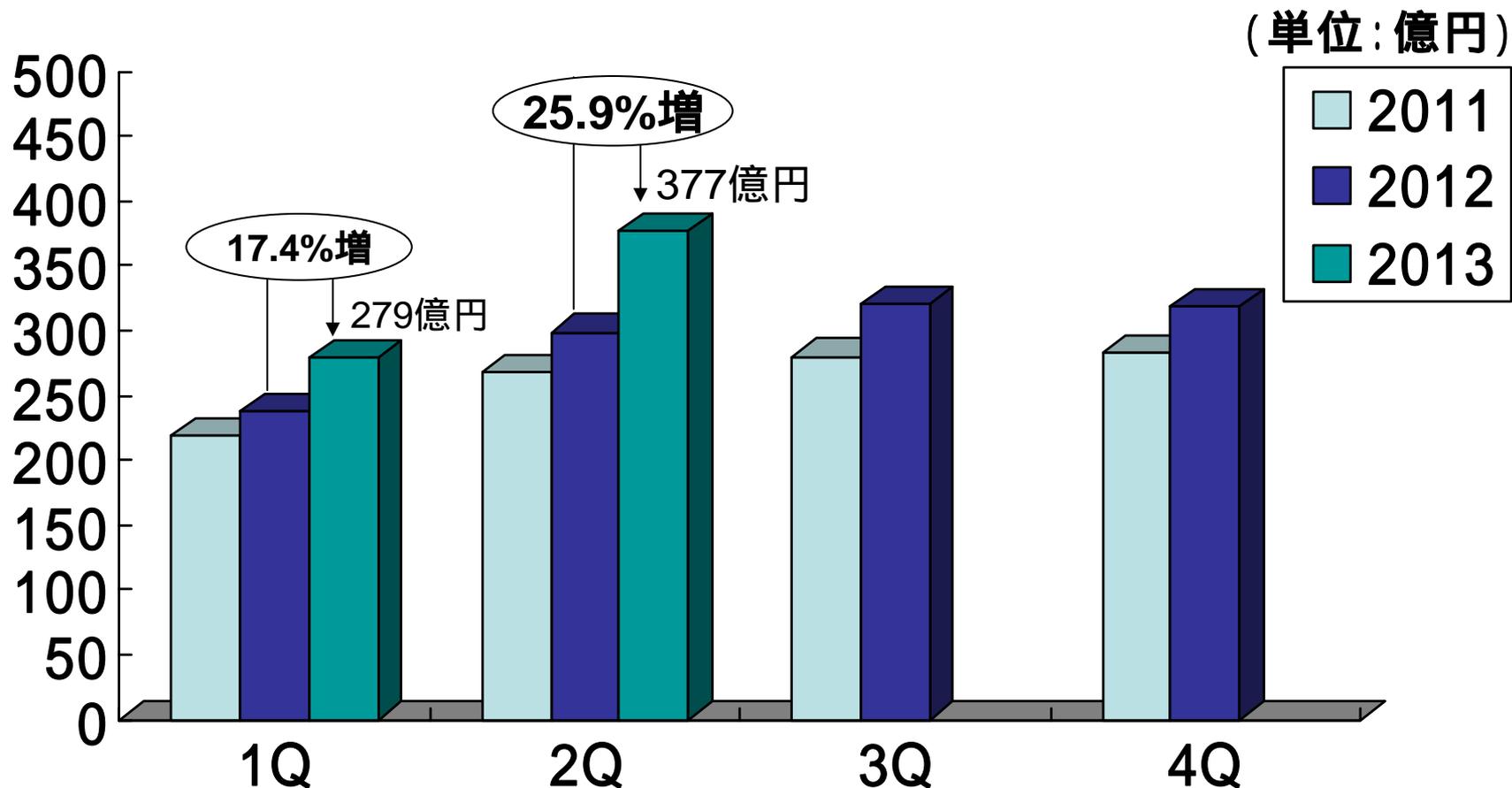
平均為替レート：14/3期 2Q 1米ドル93.90円、13/3期 2Q 1米ドル79.52円

新設事業の拡大により受注高が増加

(単位: 億円)

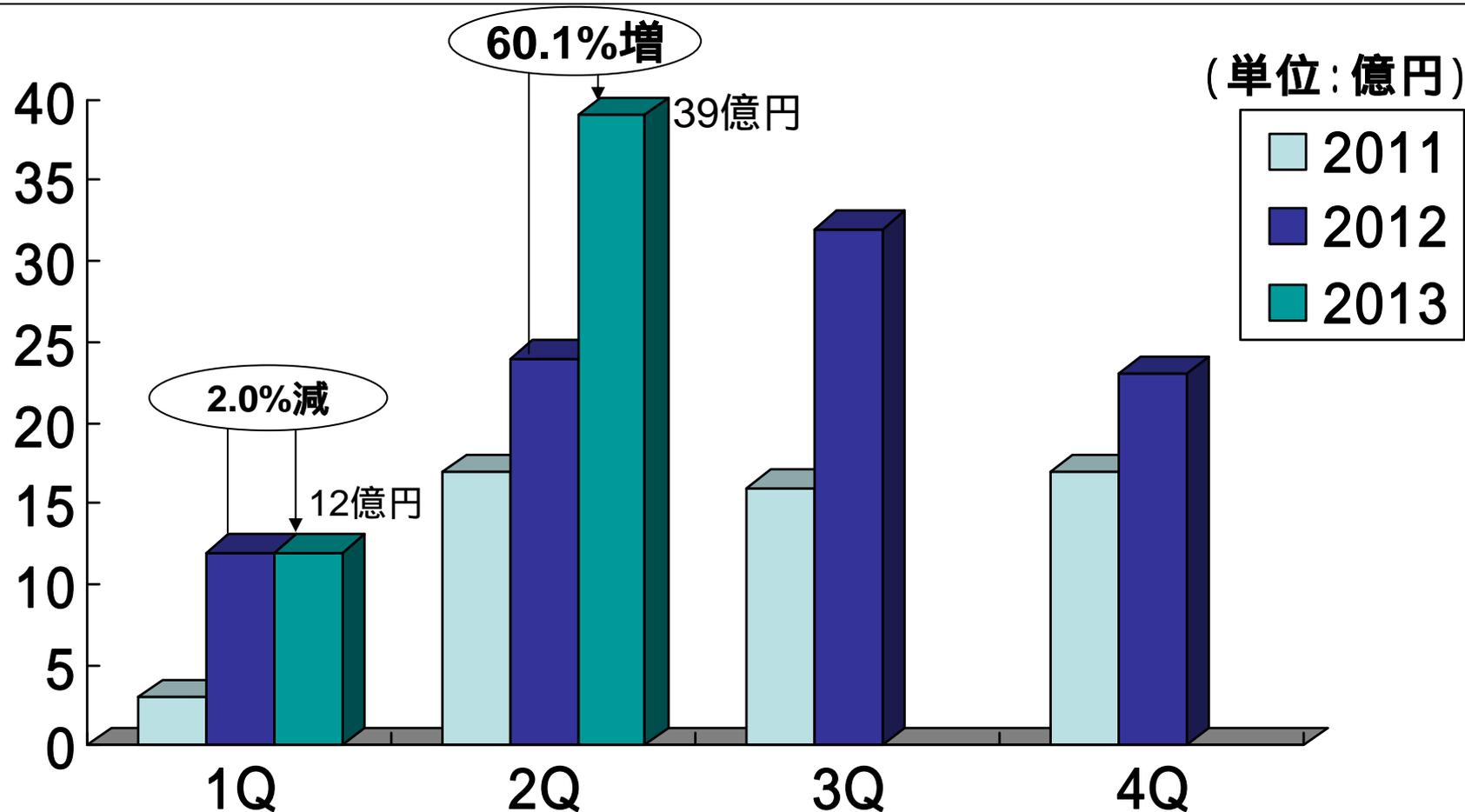


新設事業が大幅な増収。アフターマーケットビジネスも堅調



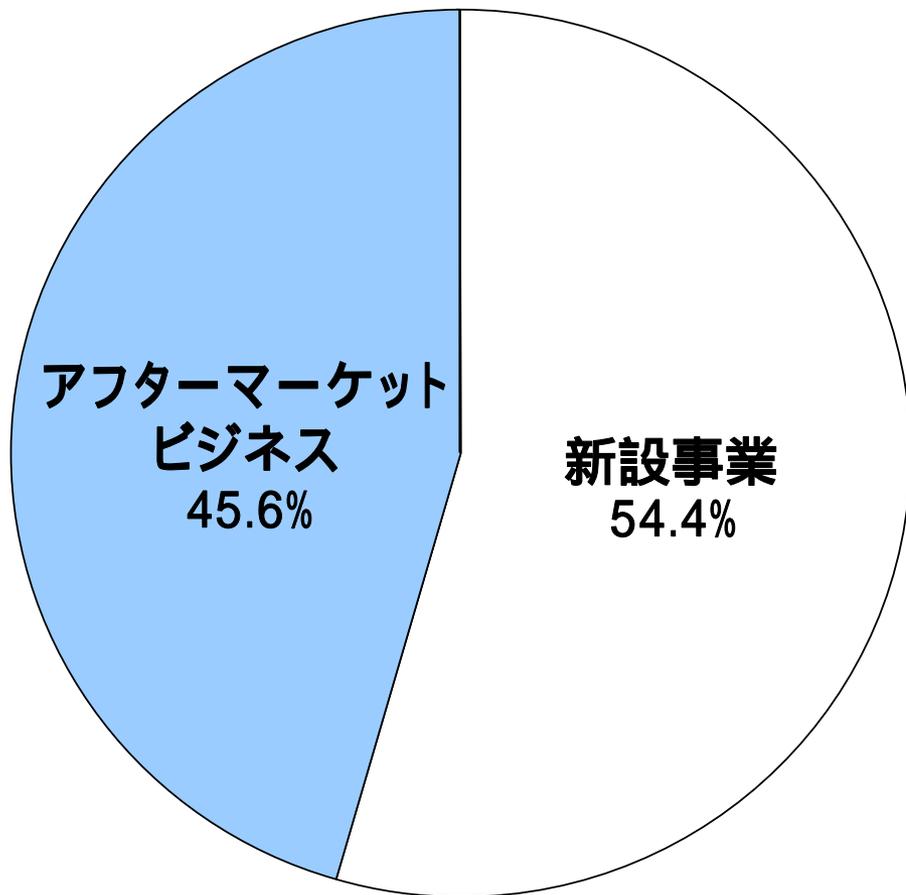
1-4. 四半期別営業利益の推移

営業利益率は、前年同期の8.0%から2.2ポイント改善

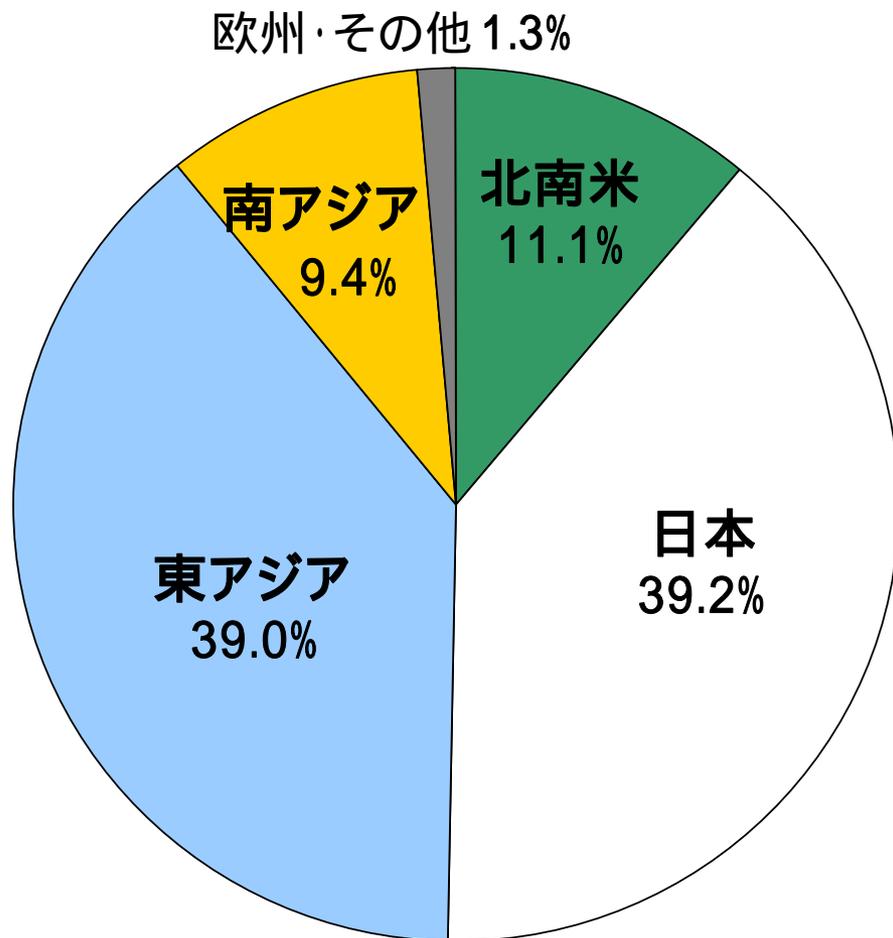


1-5. 事業別・地域別売上高構成比率

事業別売上高



地域別売上高



1-6. セグメント別売上高・営業利益

全セグメントで増収。日本と東アジアで大幅増益

(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	2014/3 2Q (累計)	2013/3 2Q (累計)	増減%	2014/3 2Q (累計)	2013/3 2Q (累計)	増減額
日 本	27,958	23,945	+ 16.8%	1,563	1,249	+ 314
東 ア ジ ア	29,061	21,576	+ 34.7%	2,848	1,554	+ 1,294
北 米	6,910	5,792	+ 19.3%	47	79	127
南 ア ジ ア	5,939	5,088	+ 16.7%	913	774	+ 139
欧 州	206	159	+ 28.9%	21	12	8
小 計	70,075	56,563	+ 23.9%	5,256	3,644	+ 1,611
調 整 額	4,452	2,847	-	203	16	187
合 計	65,622	53,715	+ 22.2%	5,053	3,628	+ 1,424

増収増益で堅調に推移。営業利益率5.6%

新設事業

- ・新設市場は緩やかに回復。
- ・消費税増税の駆け込み需要も後押し。
- ・標準型エレベータの売上が増加。
- ・エスカレータの売上も伸長。
- ・損益面では、生産拡大による生産性の向上で、輸入材料費の上昇を吸収。

アフター マーケット ビジネス

- ・モダンゼーション需要は堅調。
- ・「安全向上パッケージ」、「制御盤交換パッケージ」の売上が引き続き好調に推移。
- ・損益面では、商品ラインアップの拡充による採算性の向上と原価低減で利益率が改善。

アークヒルズ サウスタワー (東京)



中国が牽引。増収増益で順調に推移。営業利益率9.8%

中国

- ・昇降機の新設市場は堅調な需要が持続。
- ・為替の影響を除いても増収かつ大幅増益。
- ・原材料費が安定して推移。
- ・人件費の上昇も増収効果で吸収。

香港
台湾
韓国

- ・受注、売上は順調に拡大。
- ・営業利益は香港と韓国で増益。台湾で減益。



減収減益ながら、営業利益率が15.4%に改善

シンガポール

- ・減収減益ながら、営業利益率は改善。
- ・工場の一部閉鎖。
- ・グローバル調達への推進。



インド アセアン 地域

- ・インド、アセアン地域で新設受注が拡大。
- ・インドでは建築工事の遅延による出荷延伸。
- ・インドルピー安による輸入資材の高騰。



北米と欧州は増収ながら営業損失

北米

- ・米国経済の回復から新設受注は順調に拡大。
- ・一部工事の据付コストの上昇。

欧州

- ・金融危機による欧州経済の停滞。

1717ブロードウェイ(アメリカ)



1-11. 第2四半期 B/S

(単位：百万円)

	2014/3 2Q	2013/3 4Q	増減額	備考
流動資産	99,170	80,736	18,433	
現金及び預金	39,207	31,446	7,761	日本・東アジアの増加
受取手形及び売掛金	36,377	31,039	5,338	東アジアの増加
棚卸資産	17,974	13,887	4,087	東アジアの増加
その他	5,609	4,363	1,246	
固定資産	43,238	41,907	1,331	
有形固定資産	29,109	28,759	349	設備投資 + 458 減価償却 962 為替ほか + 855
無形固定資産	3,544	3,136	408	
投資その他の資産	10,584	10,011	573	
総資産	142,408	122,643	19,764	
流動負債	50,761	39,953	10,808	支払手形及び買掛金 + 2,321 前受金 + 6,737
固定負債	6,532	4,417	2,114	長期借入金 + 1,740
純資産	85,114	78,272	6,841	利益剰余金 + 2,056 為替換算調整勘定 + 4,673
自己資本比率	54.8%	58.6%	-	
B P S	841.99円	768.64円	73.35円	

キャッシュ期末残高が増加

(単位：百万円)

	2014/3 2Q	2013/3 2Q	増減額
現金及び現金同等物期首残高	15,519	9,718	+ 5,800
営業活動キャッシュフロー	5,207	5,662	455
投資活動キャッシュフロー	473	1,455	1,929
フリーキャッシュフロー	4,734	7,118	2,384
財務活動キャッシュフロー	576	2,300	+ 1,723
現金及び現金同等物期末残高	21,426	14,790	+ 6,635

2 2014年3月期 業績見通し

売上高・営業利益を上方修正

2014年3月期（期初計画）

2014年3月期（修正予想）

	売上高 (億円)	営業利益 (億円、利益率)	
日本	560	36	6.4%
東アジア	600	42	7.0%
北米	140	3	2.1%
南アジア	140	17	12.1%
欧州	7	0	-
小計	1,447	98	6.8%
調整額	77	2	-
合計	1,370	96	7.0%



	売上高 (億円)	営業利益 (億円、利益率)	
日本	610	38	6.2%
東アジア	680	60	8.8%
北米	150	0	-
南アジア	140	18	12.9%
欧州	7	0	-
小計	1,587	116	7.3%
調整額	87	6	-
合計	1,500	110	7.3%

平均為替レート: 14/3期 1米ドル90円

平均為替レート: 14/3期 1米ドル96円

日本とアジアで伸長

(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	2014/3	2013/3	増減%	2014/3	2013/3	増減額
日 本	61,000	52,865	+ 15.4%	3,800	3,447	+ 353
東アジア	68,000	48,692	+ 39.7%	6,000	4,178	+ 1,822
北 米	15,000	11,431	+ 31.2%	0	118	118
南アジア	14,000	10,590	+ 32.2%	1,800	1,486	+ 314
欧 州	700	389	+ 79.9%	0	12	+ 12
小 計	158,700	123,969	+ 28.0%	11,600	9,218	+ 2,382
調 整 額	8,700	6,501	-	600	45	-
合 計	150,000	117,468	+ 27.7%	11,000	9,172	+ 1,828

設備投資・減価償却費・研究開発費・配当

(単位：百万円)

	2014/3 計画	2013/3 実績	増減額
設備投資額	2,800	1,614	+ 1,186
国内	1,400	975	+ 425
海外	1,400	639	+ 761
減価償却費	2,400	2,083	+ 317
研究開発費	2,000	1,930	+ 70

(単位：円)

	2014/3 予定	2013/3 実績	増減額
配当金	18	16	+ 2
中間	9	6	+ 3
期末	9	(普通6+記念4) 10	1

3

中期経営計画とアジア事業戦略

中期経営計画“Grow Together! Yes, Fujitec Can”

経営方針

企業価値の持続的成長を実現するために、進出する全ての市場においてマーケット・シェアを拡大しグローバル市場でのプレゼンスを高める

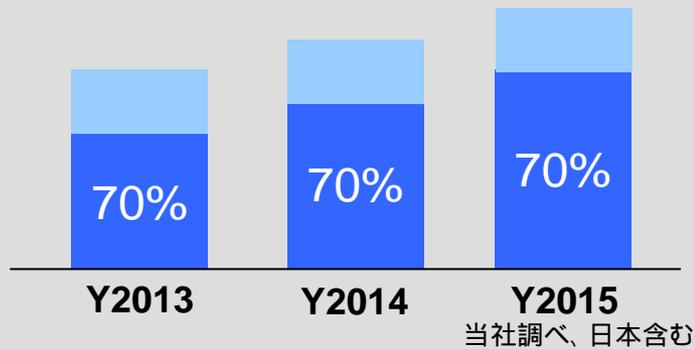
行動ビジョン

- ・ グローバル市場において、フルラインプロデューサーとして商品供給力とコスト競争力を高める
- ・ 日本を含むアジア地域での生産再編を加速し、グローバルサプライチェーンの改革を実現する
- ・ 安全と品質を最優先に、顧客の信頼と期待に応える
- ・ グローバル人材の育成を強化する

アジアの新設需要は依然、増加基調

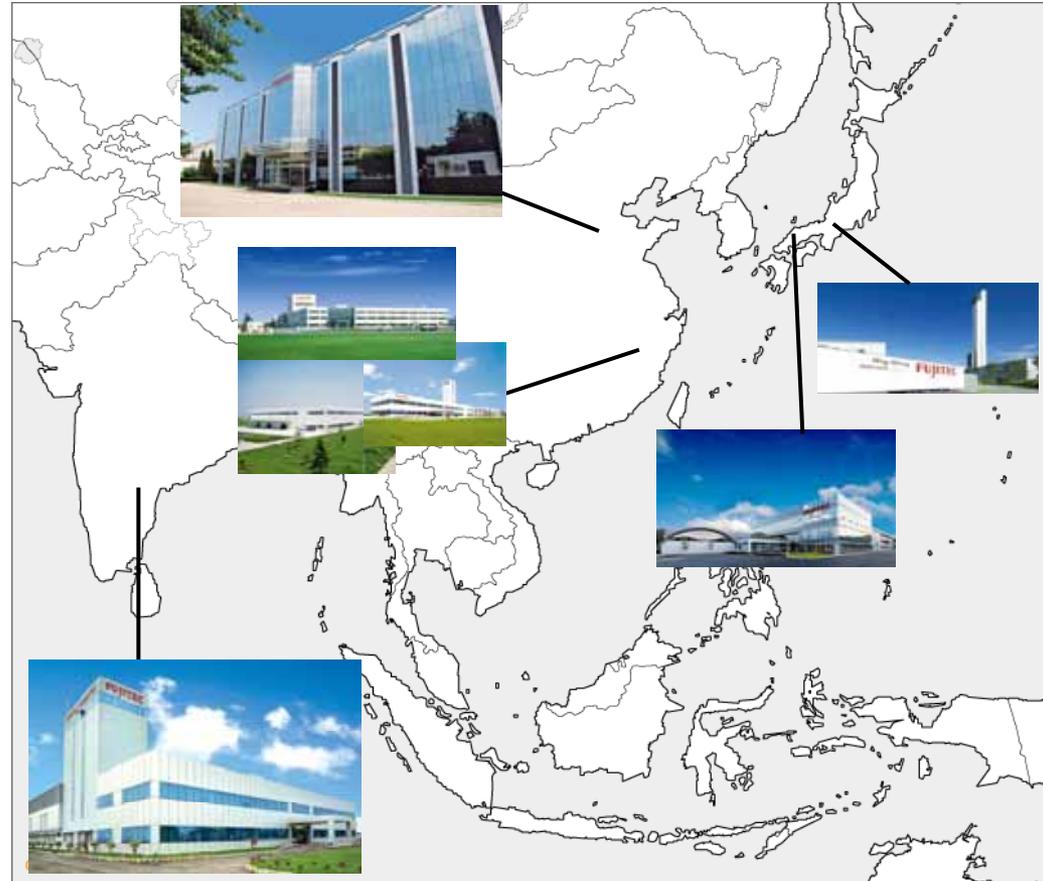
世界需要に占めるアジアの割合

■ アジア ■ その他



アジア各国の新設需要は
依然として増加基調

- ・グローバルなコスト競争力の強化
- ・商品供給力の向上に邁進



当社生産・開発拠点

年間50万台の新設需要へ伸長

中国市場の新設需要台数予測



販売面
内陸部を中心に
新規代理店の開拓

据付、保守面
新設工事増加対応のため
人員の増強と育成を強化



開発スピードの加速、生産拡大による競争力向上

開発面：新研究塔2014年3月竣工予定

生産面：国内量産機種が生産拡大

コスト面：要素機器生産拡大によるコスト低減

建設中の研究塔



現在、外装工事中

華昇フジテック



量産機種が生産拡大

上海調達センター



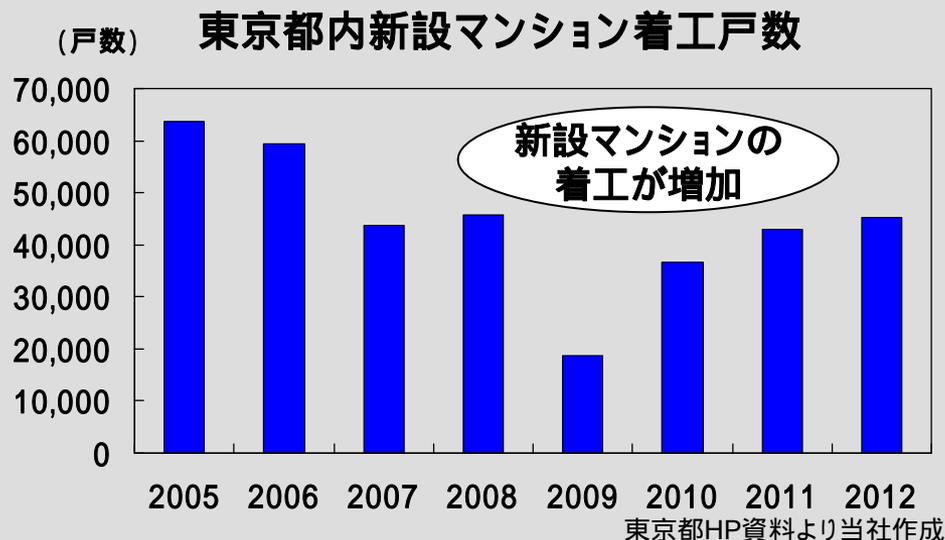
要素機器生産拡大による
コスト低減

首都圏拡販が最優先事項

首都圏

都内の再開発計画
2020年オリンピックの開催

- ・継続的な建設市場の拡大
- ・昇降機需要が拡大



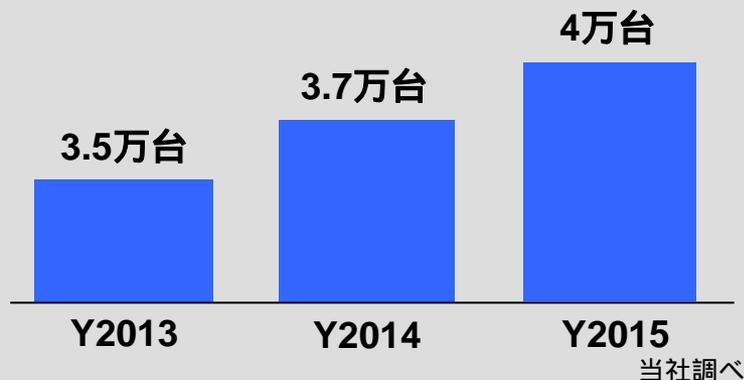
新設受注拡大の好機

主要都市

主要都市で再開発計画 支店の営業力を強化

インド国内への安定的な供給体制の構築

インド市場の新設需要台数予測



- ・ 将来性のある成長市場
- ・ 供給能力の確立
- ・ フィールド人材の育成

販売状況：・新設受注好調を維持
・ホテル、ショッピングモール納入

機種戦略：標準機種「KYUTO」の拡販



アジアを軸とした戦略を遂行し目標必達

Grow Together!

Yes, Fujitec Can

中期経営計画 2013～2015年度

【行動ビジョン】

- 1、グローバル市場において、フルラインプロデューサーとして商品供給力とコスト競争力を高める。
- 2、日本を含むアジア地域での生産再編を加速し、グローバルサプライチェーンの改革を実現する。
- 3、安全と品質を最優先に、顧客の信頼と期待に応える。
- 4、グローバル人材の育成を強化する。



參考資料

社名	フジテック株式会社
設立	1948年2月 (1974年2月東証第一部上場)
本社	滋賀県彦根市 ビッグウィング
事業内容	エレベータ、エスカレータの研究開発・製造・販売 据付・保守
資本金	125億33百万円(発行済株式数93,767,317株)
役員	代表取締役社長 内山高一 取締役:7名(うち社外3名) 監査役:常勤2名、社外2名
従業員数	連結 8,410名(個別 2,711名)
グループ企業	関係会社31社(内、連結子会社18社) (米州、東アジア、南アジア、欧州・中近東)

本資料は、当社の事業及び業界動向について当社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確かさが伴っています。既に知られた、もしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。当社は、将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2013年11月26日現在において利用可能な情報に基づいて、当社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

2013年11月

フジテック株式会社

2014年3月期第2四半期決算説明会資料

